

NHKテレビ番組「関口知宏の中国鉄道大紀行」で有名になりました中国の国有鉄道ですが、トイレの報告は一度もなかったと思います。それほど報告するに値しなかったのでしょうか？

国土面積 959.6 万 km³、人口 13.2 億人、鉄道路線の長さは 7.6 万 km しかも未だ年 1000 km ペースで新線の建設が進められています。2007 年 4 月のダイヤ改正では北京、ハルピン、大連、上海、南京、杭州などの主要都市に 200 km/hr で走る列車は動力分散方式の電車が採用され、形式 CRH - 1 がカナダ、CRH - 2 が日本、CRH - 3 がドイツ、CRH - 5 がフランス、製と 4 種類の新型電車が走っています。これは将来、北京 上海を走らせる新幹線車両を自国で開発するための試験車両でしょう。これらの車両には真空式の水洗トイレが常備され、汚物はタンクに貯留し車両基地で処理していると思います。

二等車両(普通車)



日本の新幹線と同じ 2 席×3 席 . 洋服フックも同じ位置

一等車両(グリーン)



日本と同じ足置きまでである . 最高速度 334km/h

一等車両はミネラルウォーターのサービスもあった。天津 北京南駅まで 30 分。二等 58 元、一等 69 元。特等連結の車両もありこれは 98 元とのこと。

写真 1 中国新幹線天真 - 北京南。日本製の車両は九州新幹線とほぼ同じ仕様です。
08.10.17 ダイネン(株)早原寛二さん提供

さて中国のメインルートは電化されていますがほとんどの路線は未電化でディーゼル機関車による列車運転です。私の乗車した 2002 年の上海 - 杭州は未電化でディーゼル機関車が 2 階建ての車両を引っ張っておりました。トイレは一車両両端の 2 箇所についており、トイレからレールを見ることが出来ました。当時はチケットを手に入れるのが大変でした。



写真 2 上海南駅での杭州行き快速列車。2 階建ての座席は全て指定席で満員でした。

02.1.10



写真 3 上海南 杭州の行き先表示板。 02.1.10

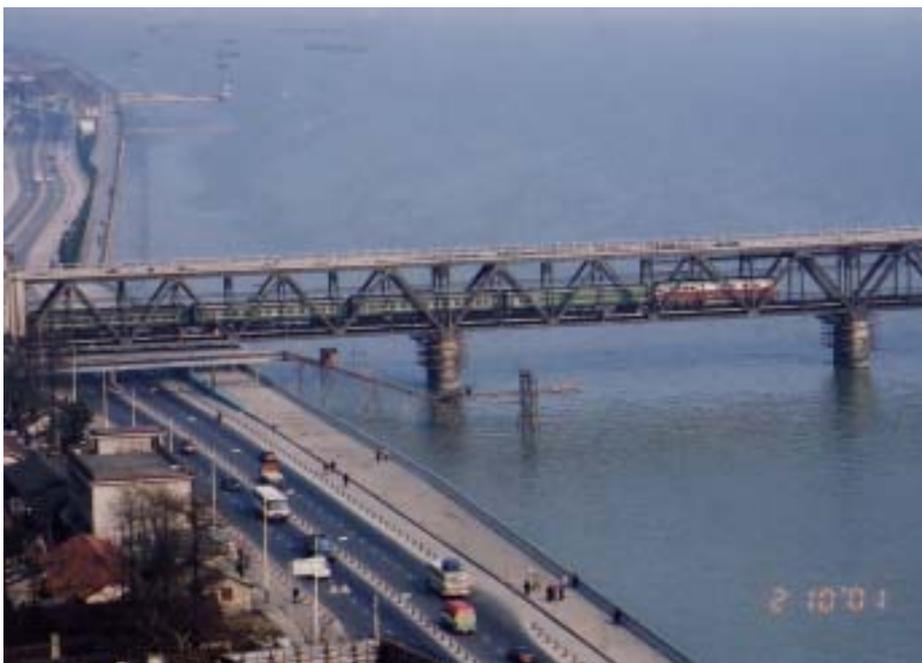


写真 4 杭州六和塔より銭塘江大橋を行く急行列車。良く見ると汚物流し管が見えます。



写真 5 杭州駅での回送列車。見難いですが最後尾の車両の後ろ側に汚物流し管が見えます。

02.1.11



写真 6 杭州駅で回送列車と我々の乗車する上海南行き快速 02.1.11

2008年2月に訪ねた大連駅では、北京や上海からの寝台列車が到着していましたが写真で見る限りトイレの下には流し管が付いており、汚物は路線に垂れ流していると思います。



写真 7 1937年太田宗太郎設計の大連駅舎。外観は上野駅、小樽駅に似ています。08.1.25



写真 8 勝利橋 元日本橋 の上から見た、上海や北京から大連駅に到着した長距離寝台列車。
08.1.25



写真 9 長距離列車の汚物流し管です。左の車両が寝台車、右の車両が座席車両です。
08.1.25

大連では朝食前にと、旧日本軍が建設した中山広場や満鉄の建物などを撮ったフィルムを、鉄道を跨ぐ勝利橋上でカメラから取り出した拍子にレールに落としてしまいました。落としたフィルムは無事見えていますが、橋を下りてフェンスを乗り越え、フィルムを回収する勇気はございません。お陰で観光写真はありません。前日撮った仕事の写真は無事でした。

京都大学鉄道研究会OBの新谷恭将さんの情報ですと、標高 3600m を行くチベット線の車両はカナダ製で新幹線と同じく気密を保つため真空式トイレ設備とのことでした。

引用文献: 佐藤芳彦「世界の高速鉄道」鉄道ファン 2008 年.7 月 Vol.48.No.567
地球の歩き方 大連・瀋陽・ハルビン (株)ダイヤモンド・ビッグ社
2007 . 08 . 31